



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場会社名 ユニプレス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5949 URL http://www.unipres.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)吉澤 正信  
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)齊藤 直樹 (TEL) (045) 470-8631  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月8日 配当支払開始予定日 平成28年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	147,737	△5.5	9,277	1.0	7,546	△0.6	3,820	23.2
28年3月期第2四半期	156,362	9.0	9,185	39.8	7,590	9.8	3,099	31.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △11,239百万円 (-%) 28年3月期第2四半期 3,792百万円 (961.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	84.78	84.53
28年3月期第2四半期	69.63	69.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	206,631	117,086	52.9
28年3月期	233,274	129,253	51.6

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 109,345百万円 28年3月期 120,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
29年3月期	—	17.50	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	△4.7	20,000	△9.2	18,500	1.7	10,000	2.6	221.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	47,754,473株	28年3月期	47,710,073株
29年3月期2Q	2,682,560株	28年3月期	2,682,560株
29年3月期2Q	45,059,396株	28年3月期2Q	44,517,854株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高につきましては、円高に伴う為替影響等により1,477億円（前年同期比86億円減、5.5%減）でしたが、当社グループをあげて取り組んでおりますUPS（ユニプレス生産システム）活動を柱とした合理化効果等により、営業利益は92億円（同91百万円増、1.0%増）となりました。経常利益は為替差損等の計上により75億円（同44百万円減、0.6%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等の減少により38億円（同7億円増、23.2%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 日本

売上高は458億円（前年同期比3億円増、0.7%増）となり、セグメント利益（営業利益）は新車展開に係る費用等により7億円（同9億円減、55.4%減）となりました。

#### ② 米州

得意先の増産影響はあったものの、為替影響により、売上高は520億円（同85億円減、14.1%減）となりました。また、セグメント利益は合理化効果等により、32億円（同3億円増、10.9%増）となりました。

#### ③ 欧州

得意先の増産影響はあったものの、為替影響により、売上高は164億円（同6億円減、3.9%減）となりました。また、セグメント利益は合理化効果等により、10億円（同1億円増、18.0%増）となりました。

#### ④ アジア

為替影響はあったものの、得意先の増産影響により、売上高は333億円（同2億円増、0.8%増）となり、セグメント利益は38億円（同6億円増、21.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が55億円、受取手形及び売掛金が36億円、たな卸資産が14億円、有形固定資産が128億円それぞれ減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ266億円減の2,066億円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金が23億円、短期借入金が38億円、長期借入金42億円、退職給付に係る負債が15億円それぞれ減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ144億円減の895億円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が30億円増加したものの、その他の包括利益累計額が141億円減少しており、非支配株主持分も10億円減少しております。この結果、前連結会計年度末に比べ121億円減の1,170億円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.3ポイントプラスの52.9%となりました。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ69億円減少し、199億円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による収入は141億円となり、前年同期の96億円に比べて44億円増加しました。主として法人税等の支払額の減少によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による支出は95億円となり、前年同期の89億円に比べて5億円増加しました。主として定期預金の増加及び有形固定資産の取得の減少によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による支出は76億円となり、前年同期の8億円に比べて67億円増加しました。主として前第2四半期連結累計期間にあった自己株式の売却による収入がなくなったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期連結業績予想につきましては、概ね予想の範囲内で推移していることから、平成28年5月11日に公表いたしました予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,553	21,953
受取手形及び売掛金	42,090	38,413
たな卸資産	22,023	20,589
その他	13,092	10,857
貸倒引当金	△279	△222
流動資産合計	104,479	91,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,762	24,331
機械装置及び運搬具(純額)	55,713	48,702
土地	8,105	7,993
建設仮勘定	6,904	4,623
その他(純額)	16,141	16,089
有形固定資産合計	114,627	101,739
無形固定資産		
投資その他の資産	3,079	2,636
投資有価証券	4,540	4,657
その他	6,554	6,014
貸倒引当金	△7	△6
投資その他の資産合計	11,088	10,665
固定資産合計	128,795	115,041
資産合計	233,274	206,631
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,495	25,169
電子記録債務	2,784	2,822
短期借入金	24,158	20,325
未払法人税等	1,955	1,443
賞与引当金	2,754	2,523
その他の引当金	88	54
その他	18,664	17,060
流動負債合計	77,901	69,399
固定負債		
長期借入金	6,175	1,968
その他の引当金	159	144
退職給付に係る負債	9,170	7,647
その他	10,613	10,384
固定負債合計	26,118	20,145
負債合計	104,020	89,545

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,972	10,003
資本剰余金	12,207	12,237
利益剰余金	105,295	108,327
自己株式	△5,130	△5,130
株主資本合計	122,345	125,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△238	△292
為替換算調整勘定	5,252	△10,285
退職給付に係る調整累計額	△6,929	△5,512
その他の包括利益累計額合計	△1,915	△16,091
新株予約権	113	97
非支配株主持分	8,711	7,643
純資産合計	129,253	117,086
負債純資産合計	233,274	206,631

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	156,362	147,737
売上原価	134,930	126,166
売上総利益	21,431	21,571
販売費及び一般管理費	12,246	12,293
営業利益	9,185	9,277
営業外収益		
受取利息	177	201
受取配当金	44	13
持分法による投資利益	—	83
受取賃貸料	104	107
その他	101	177
営業外収益合計	428	583
営業外費用		
支払利息	574	363
為替差損	670	1,841
持分法による投資損失	654	—
その他	123	109
営業外費用合計	2,023	2,313
経常利益	7,590	7,546
特別利益		
固定資産売却益	40	57
特別利益合計	40	57
特別損失		
固定資産処分損	53	56
その他	—	0
特別損失合計	53	57
税金等調整前四半期純利益	7,578	7,546
法人税等	3,727	3,024
四半期純利益	3,850	4,522
非支配株主に帰属する四半期純利益	750	702
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,099	3,820



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	3,850	4,522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△530	△55
為替換算調整勘定	516	△16,982
退職給付に係る調整額	152	1,416
持分法適用会社に対する持分相当額	△196	△139
その他の包括利益合計	△57	△15,761
四半期包括利益	3,792	△11,239
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,353	△10,355
非支配株主に係る四半期包括利益	439	△883

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,578	7,546
減価償却費	8,705	8,898
賞与引当金の増減額(△は減少)	△202	△172
受取利息及び受取配当金	△222	△214
支払利息	574	363
持分法による投資損益(△は益)	654	△83
固定資産処分損益(△は益)	12	△1
売上債権の増減額(△は増加)	△1,911	△2,807
たな卸資産の増減額(△は増加)	△628	△712
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,713	1,500
未払金の増減額(△は減少)	△1,835	△298
その他	2,483	425
小計	13,495	14,444
利息及び配当金の受取額	266	261
利息の支払額	△574	△363
法人税等の支払額	△3,515	△236
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,672	14,106
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	—	△1,502
有形固定資産の取得による支出	△8,433	△7,569
有形固定資産の売却による収入	81	109
無形固定資産の取得による支出	△164	△112
関係会社株式の取得による支出	△322	△379
関係会社貸付けによる支出	△130	△83
その他	32	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,938	△9,521
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,611	△5,006
長期借入金の返済による支出	△1,890	△1,132
リース債務の返済による支出	△430	△583
株式の発行による収入	92	44
自己株式の売却による収入	6,564	—
配当金の支払額	△528	△788
非支配株主への配当金の支払額	△227	△184
非支配株主からの払込みによる収入	198	—
その他	△26	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△859	△7,644
現金及び現金同等物に係る換算差額	50	△3,843
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△74	△6,903
現金及び現金同等物の期首残高	25,072	26,893
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,997	19,989

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	45,556	60,584	17,116	33,104	156,362	—	156,362
セグメント間の内部売上 高又は振替高	9,022	214	0	1,658	10,895	△10,895	—
計	54,579	60,798	17,116	34,763	167,257	△10,895	156,362
セグメント利益又は損失 (△)	1,708	2,914	922	3,155	8,700	485	9,185

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	45,876	52,032	16,454	33,374	147,737	—	147,737
セグメント間の内部売上 高又は振替高	5,605	274	△3	1,426	7,302	△7,302	—
計	51,481	52,306	16,451	34,800	155,039	△7,302	147,737
セグメント利益又は損失 (△)	761	3,233	1,088	3,831	8,914	362	9,277

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計方針の変更等」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を同様に變更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の日本のセグメント利益に与える影響は軽微であります。